

平成31年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】小牧市地域活性化営業部 農政課 中原 萌

【E-mail】 nousei@city.komaki.lg.jp

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて健康な身体をつくらう		基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう		基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活をしよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園	小中学校生	毎週加日 自分の食生活の振り返りがよくなる	自分の食生活の振り返りがよくなる	食生活の振り返りがよくなる	食生活の振り返りがよくなる	食生活の振り返りがよくなる	食生活の振り返りがよくなる	食生活の振り返りがよくなる	食生活の振り返りがよくなる	
第3次小牧市食育推進計画PR版を配布		◎									
市民菜園事業（藤島・池之内）		◎									藤島市民菜園の利用者数が減少している。
地元野菜の販売（蔬菜研究会）	○	◎									会員の高齢化が進んでいる。
食育の日店内職員用PCに掲載		◎									
食育月間について広報に掲載		◎									
食育ホームページ活用		◎									
小牧市生活改善実行グループとの連携（料理教室）		◎									参加者をどのように増やしていくか検討する必要がある。
農産物の品評会・即売会		◎									
いきいきこまぎでの他団体との連携（農業祭外）	○	◎									

【その他の課題・問題点】

平成31年度 食育に関する取り組み一覽

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 尾張中央農協 農業振興部 営農企画課 青山 勉

【E-mail】 aoyama.tsutomu@ja-owari-chuoh.or.jp

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて食やの興味をくわく		基本目標2 食を通じて食の安心を育てよう		基本目標3 食を通じて食やの正しい生活をしよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学生	毎朝食を食へる人の増加	自分の食生活がよいと自覚する人の増加	よく噛んで食べる人の増加	食の安全・安心を学ぶことの増加	食の栄養・健康の知識の増加	食の安全・安心の知識の増加	食の安全・安心の知識の増加	食の安全・安心の知識の増加	
(例) 第3次小牧市食育推進計画 P.R版の配布			◎								
北里小学校 野菜栽培体験	○										
三ツ淵小学校 野菜栽培体験	○										
米野小学校 野菜栽培体験	○										
陶小学校 野菜栽培体験	○										
三ツ淵小学校 稲作農業体験	○										
篠岡小学校 桃収穫体験	○										
陶小学校 桃収穫体験	○										
ひまわり幼稚園 サツマイモ収穫体験	○										
小牧中学校 桃調理実習	○										
本庄小学校 大豆栽培と豆腐づくり体験	○										
篠岡小学校 大豆栽培と豆腐づくり体験	○										

【その他の課題・問題点】 食育体験は、農産物の作付と収穫を体験することが多いが、本来は、関連する観察記録やワイズ用紙等を用いて食育推進を深める農産物の旬や時期を学び、必要な時期の観察記録をとる。また、地域との繋がりをもち協力展開を行う。

平成31年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】小中学校校長会 伊藤純子

【E-mail】

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて健康や心身をつくる		基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう		基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	国	県	母 加日	母 加日	母 加日	母 加日	母 加日	母 加日	母 加日	母 加日	
学校教育における健康教育・食育指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	食育担当者はもちろんのこと、各担当が、年間計画に従い確実に指導を兼ねていくことが大切である。
学校における農業体験の推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	実施できる学校に限られている。
学校給食を通じたコミュニケーションの促進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
学校給食を通じた食育活動の普及啓発	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
P T A ・他機関との連携	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	食に関わるP T A行事やヘルスメイトによる授業支援などを積極的に計画したり、P T A試食会の持ち方を工夫したりするとよい。

【その他の課題・問題点】

- ・給食委員会がある学校では、集会などで食育に関わる発表に取り組みむことも多い。それを日々の食育指導につなげて、継続的に指導することが大切である。
- ・小牧市家庭教育研究会では、今年度も「よりよい生活を願い、考え、実践しよう」とする子の育成」というテーマのもと、栄養教諭とともに食育分野の授業研究や実習に取り組む予定でいる。研究部員のない学校にも情報も提供し、食育への関心を高め、実践を広げていけるとよい。
- ・市内に6名いる栄養教諭・栄養職員は、それぞれが4～5校を担当して児童生徒の食育指導をしている。ただ、所属校とそれ以外の学校では指導回数等の差が出やすい。

平成31年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法 (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】小牧市食生活改善協議会 伊藤 貴子

【E-mail】takako27@ma.ccnw.ne.jp

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて健康や加齢の身体をつくろう		基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう		基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活をしよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学生	母の食生活がよくなる	自分の食生活がよくなる	食の楽しさを増やす	食の楽しさを増やす	食の楽しさを増やす	食の楽しさを増やす	食の楽しさを増やす	食の楽しさを増やす	
(例) 第3次小牧市食育推進計画PR版の配布		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
小牧市家庭科調理補助(大城小学校5年生)	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調理の楽しさ、基本を学び、成功体験から食に興味を持ってもらう。
おやこ食育教室	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	社会や生活の多様化により子供の孤食が増加。親子で学び考えてもらう。
地区健康展(地区未定)			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	自分が食べたい野菜の量と必要な野菜量を実際に手に取り知ってもらう。
生涯食太クッキング			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	低栄養・ロコモ・認知症予防を加えた食生活改善活動。積極的な乳製品摂取を勧める。
歯ピカピックへの参加	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	自分が食べたい野菜の量と必要な野菜量を実際に手に取り知ってもらう。
いきいき小牧(農業祭)への参加	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	自分が食べたい野菜の量と必要な野菜量を実際に手に取り知ってもらう。
ハルスサポーター21(健康・味問)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	自分の為、家族の為に食べ物を運び調理できる力をつける。
みそ汁塩分調査(家庭訪問)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	塩分量、野菜摂取の調査、若者世代の調査数が少ない。
パパママ教室にて塩分測定年6回			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	子育て世代に塩分に対して意識を持ってもらう。簡易調査。
広報こまき「生き生きレシピ」掲載(年6回)			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一般家庭にある調味料、食材使用の簡単レシピ。
ふれあいサロン・いきいきサロン・味問児童館 事業参加	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	サロン会食会レシピ提供、調理補助、味問児童館食生活改善教室など。

【その他の課題・問題点】
 岐阜市のように養成講座の募集パンフレットが全戸配布になると良い。愛知県の市町でも全戸配布されて養成講座の参加者が急増したという話しを聞いた。春日井市のように募集活動をするように募集時に明記してほしい。

平成31年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 こまき環境市民会議 倉知 日出美

【E-mail】

事業名	対象年代			基本目標1 食を通して豊やかな身体をつくらう		基本目標2 食を通して豊かな心を育てよう		基本目標3 食を通して豊かにやさしい生活しよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学生	一般市民	毎朝朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思える人の増加	自分の正しい体加重を知っている人の増加	ベイクアップの増加	食の楽しさを伝える人の増加	いちごづくしをすすめる人の増加	食の楽しさを伝える人の増加	食の楽しさを伝える人の増加	
廃食用油の回収	○	○	○								◎	廃食用油回収事業の更なる周知
菜の花プロジェクト	○	○	○								◎	年によって菜の花の成長に差がある。また、菜の花畑の手入れについて時間と労力の負担が大きい。

【その他の課題・問題点】

会員の高齢化により事業の拡大・充実が難しい。

平成31年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 小牧市私立幼稚園連合協議会 山口 美穂

【E-mail】

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて豊かやな身体をつくろう			基本目標2 食を通じて豊かやな心を育てよう			基本目標3 食を通じて豊かにやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう	
	園児	小中学生	一般市民	増加分の食生活がよいと	自分の食生活を知り	自分の食生活を知り	毎朝朝食を食べる人の増加	思いやりの食生活がよいと	自分の食生活を知り	毎朝朝食を食べる人の増加	思いやりの食生活を知り	毎朝朝食を食べる人の増加	食の増加を知っている	食の増加を促している
玉ねぎの苗植え 中小 (11月)	◎											◎	○	
玉ねぎ堀り (5月初旬)	◎											◎	○	
じゃがいもの苗植え (2月)	◎											◎	○	
じゃがいも堀り (6月)	◎											◎	○	
さつまいもの苗植え (5月)	◎											◎	○	
さつまいも堀り (10月)	◎											◎	○	
桃取り (6月下旬)	◎											◎	○	
夏野菜の収穫 (7月・8月)	◎											◎	○	
大根・にんじんの種植え (9月)	◎											◎	○	
大根・にんじん堀り	◎											◎	○	

【その他の課題・問題点】

今後の課題・問題点

平成31年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】小牧市生活改善実行グループ連絡研究会 会長 堀尾 由香里

【E-mail】

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて豊やかで健康的な身体をつくらう		基本目標2 食を通じて豊かな心を育もう		基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活をしよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学校生、大学生	毎朝朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと誇れる人の増加	食の楽しさを伝える人の増加	食生活の改善を促す人の増加	食の楽しさを伝える人の増加	食の楽しさを伝える人の増加	食の楽しさを伝える人の増加	食の楽しさを伝える人の増加	
飾り巻き寿司講習会		◎									いかに簡単にやってもらえるか？
市民講座予行練習 中部大コラ		◎									楽しく学ぶ新しい発見の出来る料理をしたい
市民講座本番 中部大コラボ		◎									楽しく学ぶ新しい発見の出来る料理をしたい
農業祭展示品作り		◎									展示品を多くの人に見てもらいたい興味を持ってもらいたい
焼き肉のタレの講習会		◎									手作りのおいしさを知ってもらおうこと

【その他の課題・問題点】

平成31年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 学校給食課 小牧市栄養教諭・学校栄養職員研究会

【E-mail】

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて健康な身体をつくらう			基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点	
	国	県	目標達成者の増加	食生活の改善	食生活の向上	食生活の向上	食生活の向上	食生活の向上	食生活の向上	食生活の向上	食生活の向上	食生活の向上	食生活の向上		
体験ブースの出店(産業祭)		○	◎												
給食だよりの発行		○	◎												
食に関する指導		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
HPによる啓発活動		○	◎												
地場産物と郷土料理の活用		◎	○												

【その他の課題・問題点】

平成31年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 小久保 直好

【E-mail】 mogmogland2008@yahoo.co.jp

事業名	対象年代		基本目標1 食を通して健康や心身を強くろう		基本目標2 食を通して豊かな心を育てよう		基本目標3 食を通して環境にやさしい生活をしよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点			
	園児	小中学生	増す 毎朝食を 食べる人 の	思ふ 自分の食 生活がよ いと	て自 分の酒の 正体を知 つ	べく 人間の増 加でわっ て食	る人 の増し いと回 答す	いち つだき ますな の増 加あ こ	実践 して理 を年 人の増 加	い地 産の食 材を購 入して		か食 つた 人の増 加をし な	培目 して い食 べる人 の増 加を 裁	人 の増 加を 知っ てい る
小牧子ども食堂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ぶらむはうすでの啓発	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
食育推進協力店	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

【その他の課題・問題点】

平成31年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 藤岡 富士江

【E-mail】

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて健康な身体をつくらう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう				基本目標3 食を通じて家族にやさしい生活をしよう				基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学校生	増え続ける高齢者の食生活がよくなること	食生活がよくなること	食生活がよくなること	食生活がよくなること	食生活がよくなること	食生活がよくなること	食生活がよくなること	食生活がよくなること	食生活がよくなること	食生活がよくなること	食生活がよくなること	食生活がよくなること	食生活がよくなること		
親子防災クッキング(7月)	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ポリ袋整理	
コープ健康クッキング(月1回)			◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
ジュニアセミナー(味師市民センター)	◎		◎													小牧市食育推進団「まいるいたんポツポツ」として対応 6月 クッキングとフルーツ鑑賞 7月 9月 パンクレーキ、肉まん、ピザ等検討中	
生活展にて、 食育活動の紹介と食育ゲーム	○	○	◎	◎													
コープあいち「小牧のつどい」 25以上のメーカーや生産者との試食交流会			◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○		
こどもクッキング(5らっこのみ)		◎														6月 プリジナルクッキー作り 9月 ばっかんおにぎりとおみそ汁 12月 クリスマスマスリース作り (or贈答おせち) 2月 未定	

【その他の課題・問題点】

平成31年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 こども未来部保育課 小牧市立一色保育園 大野 千恵

【E-mail】

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて健康や心身の発達を促す			基本目標2 食を通じて豊かな心を育む			基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活しよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園	小中学校生	増加分 毎朝食を食べる人の増加	増加分 毎朝食を食べる人の増加	増加分 毎朝食を食べる人の増加	増加分 毎朝食を食べる人の増加	増加分 毎朝食を食べる人の増加	増加分 毎朝食を食べる人の増加	増加分 毎朝食を食べる人の増加	増加分 毎朝食を食べる人の増加	増加分 毎朝食を食べる人の増加	増加分 毎朝食を食べる人の増加	増加分 毎朝食を食べる人の増加	
(例) 第3次小牧市食育推進計画PR版の配布	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
食育指導 (食べる意欲がもてるように、よく噛んで味わって食べることを知らせる。)	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	毎日の食事が楽しい時間になり、食べる意欲や咀嚼力が満たされた満足感が感じられるようにしていく。また、楽しく食事をする中で食事のマナーを知り、少しずつ身につけていく。
栄養士による栄養指導	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	栄養士が園児と保護者に向けて話しをし、バランスのとれた食事の大切さを知らせていく。
野菜栽培・野菜の収穫体験	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	グリーンピースのさや取りや夏野菜を育てるなどの実体験を通して、子どもたちが気持ちいやりや楽しみながら食育の楽しさを味わう。
給食展示	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	毎日朝ごはんを食べた給食を見ることが食育に楽しさをもち、家庭においても食育を促すきっかけになるようにしていく。
クッキング	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	自分で作ることで、食育や調理について関心を持ち、自分で作ったものを食べる喜びや楽しさを味わう。
郷土料理や行事食の提供・地産地消の推進	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	季節に合わせた郷土料理の提供や、地元で取れる食材や特産物への関心が高まるようにしていく。

【その他の課題・問題点】

・手軽なファーストフードやレトルト食品が多くなってきている。食育体験や調理体験を通じて将来的に自分で料理でき、自分の健康は自分で守れる大人へと成長できるきっかけづくりとなるようにしていくことを目指す。

平成31年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】小牧市保健センター 栄養士 福澤

【E-mail】 hokensen@city.komaki.lg.jp

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて健康やかな身体をつくらう		基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう		基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活しよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学生	増進 毎日朝食を食する人の増加	増進 自分の食生活がよくなる人の増加	増進 食生活が楽しいと回答する人の増加	増進 食生活が健康でいられる人の増加	増進 食生活が環境にやさしいと感じる人の増加	増進 食育に関する知識の増加	増進 食育活動に参加している人の増加		
パパママ教室			○	○	○						
離乳食教室 初期こくくん教室・後期かみかみ教室			○	○	◎						
歯みがき教室	○		○	○	○						
ヤング健診結果説明			○	○	◎						
家族の健康を養える食生活講座 (ヘルスマネジメント養成講座)			○	○	○				○	◎	
生活習慣病予防相談			○	○	○						
健康教室、お口元気はつらつ教室			○								
健康日本21にまき計画推進部会 (栄養・食生活部会)		○	○	○	○						

【その他の課題・問題点】

平成31年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 環境対策課 若山 愛美

【E-mail】 kankyou@city.komaki.lg.jp

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて健康な身体をつくろう			基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活しよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学生	1歳未満	1歳～3歳未満	4歳～6歳未満	7歳～12歳未満	13歳～19歳未満	20歳以上	家庭	学校	地域	施設	その他	
廃食用油の回収		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	廃食用油回収事業の更なる周知
菜の花プロジェクト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	年によって菜の花の成長に差がある。また、菜の花畑の手入れについて時間と労力の負担が大きい。

【その他の課題・問題点】
 昨年度まで、市民環境講座の一つとして食育に関する講座を開催していたが、参加者が限定されてしまう等の課題があったことから、今年度は今のところ開催の予定はない。他の料理講座との差別化を図りながら、効果的な講座を検討していきたい。

平成31年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 学校教育課 兼子正巳

【E-mail】 masa-kaneko@komaki-aic.ed.jp

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて豊やかな身体をつくろう			基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		
	園児	小中学生	一般市民	増え加 日朝食を 食を食べ る人の	思自分 の食生活 が増え加 よいと	自分 の適正 体重を知 る	よく 噛んで 味わって 食べる 人の増 え加	食の増 え加と 回答す る	いち さつを さすま する人 の増え 加	実郷 施し理 を年1 回の増 え加	い地 産の食 材を購 入して る人の 増え加	か食 つたの 人の増 え加を しな す	培目 しで い食 る人の 増え加	人 の食 増え加 を知 てい る	増え加 や「食 育」に 関する 人の活 動
学校教育における健康教育	○	○		○			○	○	○		○	○	○		
学校における農業体験の推進	○	○						○	○	○	○	○	○		
学校給食を通じたコミュニケーションの促進	○	○						◎	○		○	○	○		
学校給食を通じた食育活動の普及啓発	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○		
PTA・他機関との連携	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○		

【今後の課題・問題点】

乗船できる学校に限られている。

校内放送を有効に使い、啓発に努めたい。

平成31年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健康な生活をつくらう		基本目標2 食を通じて豊かな生活を送ろう		基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活をしよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学校生	一般市民	毎週朝食を食べる人の数が増えていること	自分自身の食生活がよくなること	自分の適切な体重を知ること	食生活が豊かになること	食の楽しさを伝えること	食の楽しさを伝えること	食の楽しさを伝えること	食の楽しさを伝えること	
【報告者名】 生涯学習課 宇陀 香帆 【E-mail】 sgakushu@city.komaki.lg.jp												
(例) 第3次小牧市食育推進計画 PR版の配布			◎							◎	○	
夏休み親子食講座		◎										
小牧の伝統食講座			◎									

【その他の課題・問題点】
講座については年度によって内容が異なるため、定期的に食育に関する講座が開催されるとは限りません。そのため、食育推進計画の事業とすべきか検討が必要だと思われまます。

平成31年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象となる項目には○ (複数回答可)

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて健康な身体をつくる		基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう		基本目標3 食を通じて健康にやまじい生活をしよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学生	増加分	思いつく人の食生活がよいと	自分や周りの人の正しい食生活を知り	よく食べる人の増加で味がわかって食	食の増加しと回答する	食の増加しと回答する	食の増加しと回答する	食の増加しと回答する	
「あいち食育いきいきレポート」作成 7月 ウェブサイト上で公開		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
食育推進ボランティアの登録、情報提供 6月～7月 新規募集		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
地域食育推進ボランティア研修交流会 9月25日(名古屋市内で開催)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	平成31年3月末現在登録者数 1,134名 (内、尾張地域 241名、うち小牧市5名)
「あいち食育いきいきシンポジウム」 11月頃開催(開催地未定)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	<あいち食育いきいきプラン2020目標> 食育推進ボランティアから食育を学んだ人数 (9.1万人 (H26) ⇒ 目標値 10万人/年間 (H32))
地元産産物を活用した和食講習会の開催 12～2月頃開催(開催地未定)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	<あいち食育いきいきプラン2020目標> 家族や友人と一緒に楽しく食事をする人の割合 (77.4% (H26) ⇒ 目標値 80%以上 (H32))
食育劇「食まるファイブ」上演の支援(小学校等への資料貸与、シナリオ提供)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	<あいち食育いきいきプラン2020目標> 成人1日当たりの野菜摂取量(265g (H26) ⇒ 目標値 350g以上 (H32))
ウェブページ「食育ネットあいち」の充実(随時)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	<あいち食育いきいきプラン2020目標> 朝食に野菜を食べている小中学生の割合 (小学生(第5学年) (64.1% (H27) ⇒ 目標値 80%以上 (H32))
小学生の農林漁業体験学習の推進(「学校での農林漁業体験学習に係る地域協力者一覧」配布)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	<あいち食育いきいきプラン2020目標> 農林漁業体験学習に取り組む小学校の割合 (40.5% (H27) ⇒ 目標値 45%以上 (H32))
いいともあいち運動の推進(随時)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	<あいち食育いきいきプラン2020目標> 「いいともあいち運動」を知っている人の割合 (19.6% (H27) ⇒ 目標値 25%以上 (H33))

【その他の課題・問題点】

食育推進全国大会 令和2年6月27日、28日 愛知県国際展示場(常滑市)

平成31年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 小牧市歯科医師会 佐々木 成高

【E-mail】 peare@ea.mbn.or.jp

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて賢やかな身体をつくらう			基本目標2 食を通じて賢やかな心育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小学生	一般市民	増進 毎日朝食を食べる人の増加	思慮 自分の食生活がよいと人の増加	自覚 自分の正しい体重を知り人の増加	バヨク 人の噛む力が増えて食の味が変わる	食の楽しさ 食の楽しさを知り人の増加	いち「さそい」をつたえよう 「さそい」をつたえよう 「さそい」をつたえよう 「さそい」をつたえよう	実践 実践して理を年1回以上の増加	地元 地元の食料を購入して人の増加	かき かきつた人の増加	活用 活用して食べる人の増加	人 人の増加を知っている	
歯の健康センター（歯ピカピック）開催	◎	◎	○	○	○	◎	◎	○	○				○	○	参加者の増加対策
学校、保育園、幼稚園での歯科健診、保健指導、健康教育	◎	◎	○	○	○	◎	◎	○	○				○	○	施設毎の保健指導の実施
よい歯の表彰『健口大賞』		◎	○	○	○	◎	◎	○	○				○	○	
市役所職員、養護教諭、一般市民への健康教育			◎	○	○	◎	◎	○	○				○	○	継続した教育活動、アップデートの必要性

【その他の課題・問題点】

基本目標1：高齢者の欠損歯数が多い（80歳で平均14本）ことによる咀嚼機能の低下で、カロリーオーバーの栄養不足となる。また、認知症も増加する。
 社会性/心のフレイル期⇒オーラルフレイル（栄養面のフレイル期⇒重度フレイル期となり要介護へ（要介護となる最も多いケース）「口腔機能低下症」から要介護へと進展する。
 ※フレイルとは、『虚弱』の意味で、健康と要介護の間で可逆型である。高齢者の欠損歯数を減少させる必要がある。健康寿命の延伸につながる。（定期歯科健診者数の増加）

平成31年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】愛知県食品衛生協会小牧支部 高橋 美喜雄

【E-mail】

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくらう			基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう		基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活しよう			基本目標4 食育を広めよう	
	園児	小中学生	一般市民	毎日の食生活の質を高める人の増加	自分の適正な量を認識する人の増加	よく噛んで食べる人の増加	「いただきます」「ごちそうさまでしょ」などの挨拶をする人の増加	食事が楽しいと感じる人の増加	地元産食材を購入する人の増加	食卓の片付けを済ませる人の増加	自宅で食べる野菜を栽培している人の増加	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する活動を行っている人の増加
食品営業者の自主管理体制づくりのための再講習会													◎
食中毒防止の広報、量販店店頭での啓発活動			○										◎
食育推進協力店の推進講習会の開催・パンフレット配布			○			○							◎
食品営業関係従事者の検便・食品の細菌検査			○										◎
食品営業許可所得への養成講習会			○						○				◎
行政・指導員の食品営業施設への定期巡回指導													◎
食品衛生指導員の大手工場見学													◎
食品衛生指導員への行政の専門講師による勉強会開催													◎

【その他の課題・問題点】

今後の課題・問題点

食育推進協力店の登録件数の増加

情報提供をできるようにする